

| | | | | |
|---|--|--|---|--------|
| 苫小牧工業高等専門学校 | 開講年度 | 令和05年度 (2023年度) | 授業科目 | 英語 I A |
| 科目基礎情報 | | | | |
| 科目番号 | 0001 | 科目区分 | 一般 / 必修 | |
| 授業形態 | 授業 | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 4 | |
| 開設学科 | 創造工学科 (一般科目) | 対象学年 | 1 | |
| 開設期 | 通年 | 週時間数 | 前期:4 後期:4 | |
| 教科書/教材 | 教科書:「MY WAY English Communication I」(三省堂) / ワークブック:「MY WAY English Communication I ワークブック スタンダード版」(三省堂) / 文法テキスト:「BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 21 STAGES」(教研出版) / 夏期多読課題: info.box 2023-24 for ELEMENTARY English Learners (工ミル出版) | | | |
| 担当教員 | 蓼沼 香, 鈴木 修平 | | | |
| 到達目標 | | | | |
| 1) 基礎的な英語で書かれた文章を理解(読解・聴解)し、その内容を日本語で説明できる。 2) 英文の内容理解を通して、国内や海外の諸事情・諸問題に広く関心を持つことができる。 3) 英検3級の取得が確実となる英語力を身につけ、英語学力テストで自身の英語力を確認できる。 | | | | |
| ルーブリック | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | |
| 基礎的な英語で書かれた文章を理解(読解・聴解)し、その内容を日本語で説明できる。 | 基礎的な英語で書かれた文章を理解(読解・聴解)し、その内容を日本語で正確に説明できる。 | 基礎的な英語で書かれた文章を概ね理解(読解・聴解)し、その内容を日本語で説明できる。 | 基礎的な英語で書かれた文章を理解(読解・聴解)できず、その内容を日本語で説明できない。 | |
| 英文の内容理解を通して、国内や海外の諸事情・諸問題に広く関心を持つことができる。 | 英文の内容理解を通して、国内や海外の諸事情・諸問題に広く関心を持つことができる。 | 英文の内容理解を通して、国内や海外の諸事情・諸問題に概ね関心を持つことができる。 | 英文の内容理解を通して、国内や海外の諸事情・諸問題に関心を持つことができない。 | |
| 英検3級の取得が確実となる英語力を身につけ、英語学力テストで自身の英語力を確認できる。 | 英検3級の取得が確実となる英語力を身につけ、英語学力テストで自身の英語力を確認できる。 | 英検3級の取得が可能となる基本的な英語力を身につけ、英語学力テストで自身の英語力を確認できる。 | 英検3級の取得が可能となる基本的な英語力を身につけられず、英語学力テストで自身の英語力を確認できない。 | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | |
| I 人間性 1 I 人間性 II 実践性 2 II 実践性 III 国際性 3 III 国際性 | | | | |
| 教育方法等 | | | | |
| 概要 | 教科書を中心に「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能のバランスのとれた総合的な力が身につくように指導する。教科書の英文読解や文法事項の習得、音読練習などを通して、英検3級を目安とする英語力の習得を目指す。 | | | |
| 授業の進め方・方法 | 1) 教科書を中心に、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能バランスのとれた総合的な英語力を身につける。 2) 文法テキストは、教科書で学んだ文法事項の理解を深めるために使用する。 3) 小テストは、教科書で学習した語彙や文法の習得状況を確認するため、頻繁に実施する。 4) 毎回の授業に持参するのは、教科書・文法テキスト・ワークブック・英和辞典の4点である。 5) Office 365のFormsを使用して課題を課するので、送られたリンクにアクセスして必ず解答すること。課題に解答したかどうかは成績に加味される。 到達度試験(中間試験)30%、定期試験30%、その他(各種テスト・提出課題や点検等)40%の割合で評価し、再試験は前期末と学年末の2回実施する。学年末評価で60点以上が単位取得の条件となる。 | | | |
| 注意点 | 英語学習において予習・復習は絶対不可欠である。予習では、英和辞典とワークブックを活用しながら、教科書本文の意味内容を自力で理解するよう努めること。復習では、理解済みの教科書本文を音読・筆写し、ワークブックを確認して、語彙・文法を含めた英文全体の習得に励むこと。 ※成績評価: 定期試験30%、到達度試験30%、その他(各種テスト・課題・予習状況)40%の割合で評価する。 ※再試験と再評価: 評価が60点に達しない者には再試験を実施する。この場合、再試験の成績は定期試験と到達度試験(中間試験)の成績(60%)に置き換えて再評価を行う。 | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | |
| <input type="checkbox"/> アクティブラーニング <input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | | | | |
| 授業計画 | | | | |
| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | |
| 前期 | 1週 | ガイダンス、Starter、英和辞典の使用法 Lesson 1 Proverbs Around the World | 授業概要・英語学習方法が理解できる。Lesson 1の英文を理解し、内容を説明できる。「現在・過去」「進行形」「SVO (that節)」の表現を理解し運用できる。 | |
| | 2週 | Lesson 1 Proverbs Around the World | 授業概要・英語学習方法が理解できる。Lesson 1の英文を理解し、内容を説明できる。「現在・過去」「進行形」「SVO (that節)」の表現を理解し運用できる。 | |
| | 3週 | Lesson 2 Iwago Mitsuaki --- An Animal Photographer | Lesson 2の英文を理解し、内容を説明できる。「助動詞」「受け身」「助動詞+受け身」の表現を理解し運用できる。 | |
| | 4週 | Lesson 2 Iwago Mitsuaki --- An Animal Photographer | Lesson 2の英文を理解し、内容を説明できる。「助動詞」「受け身」「助動詞+受け身」の表現を理解し運用できる。 | |
| | 5週 | Lesson 3 Sending Canned Mackerel to Space | Lesson 3の英文を理解し、内容を説明できる。「動名詞」「to不定詞」の表現を理解し運用できる。 | |
| | 6週 | Lesson 3 Sending Canned Mackerel to Space | Lesson 3の英文を理解し、内容を説明できる。「動名詞」「to不定詞」の表現を理解し運用できる。 | |
| | 7週 | Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh | Lesson 4の英文を理解し、内容を説明できる。「現在完了」「現在完了進行形」「過去完了」の表現を理解し運用できる。 | |

| | | | | |
|------|------|---|---|--|
| 2ndQ | 8週 | Lesson 4 Messages from Winnie-the-Pooh | Lesson 4の英文を理解し、内容を説明できる。「現在完了」「現在完了進行形」「過去完了」の表現を理解し運用できる。 | |
| | 9週 | 前期到達度試験 Lesson 5 Endangered Languages | Lesson 5の英文を理解し、内容を説明できる。「関係代名詞」「It is ... to 不定詞」の表現を理解し運用できる。 | |
| | 10週 | Lesson 5 Endangered Languages | Lesson 5の英文を理解し、内容を説明できる。「関係代名詞」「It is ... to 不定詞」の表現を理解し運用できる。 | |
| | 11週 | Lesson 5 Endangered Languages | Lesson 5の英文を理解し、内容を説明できる。「関係代名詞」「It is ... to 不定詞」の表現を理解し運用できる。 | |
| | 12週 | Lesson 5 Endangered Languages Lesson 6 A Wheelchair Traveler | Lesson 5の英文を理解し、内容を説明できる。「関係代名詞」「It is ... to 不定詞」の表現を理解し運用できる。 Lesson 6の英文を理解し、内容を説明できる。「分詞の形容詞的用法」「分詞構文」「It is ... that節」の表現を理解し運用できる。 | |
| | 13週 | Lesson 6 A Wheelchair Traveler | Lesson 6の英文を理解し、内容を説明できる。「分詞の形容詞的用法」「分詞構文」「It is ... that節」の表現を理解し運用できる。 | |
| | 14週 | Lesson 6 A Wheelchair Traveler | Lesson 6の英文を理解し、内容を説明できる。「分詞の形容詞的用法」「分詞構文」「It is ... that節」の表現を理解し運用できる。 | |
| | 15週 | Lesson 6 A Wheelchair Traveler 夏期多読課題の導入 | Lesson 6の英文を理解し、内容を説明できる。「分詞の形容詞的用法」「分詞構文」「It is ... that節」の表現を理解し運用できる。 | |
| | 16週 | 前期定期試験 | | |
| 後期 | 3rdQ | 1週 | 夏期課題テスト Lesson 7 The Fugees | 多読の成果をテストで示すことができる。 Lesson 7の英文を理解し、内容を説明できる。「関係副詞」「比較」の表現を理解し運用できる。 |
| | | 2週 | Lesson 7 The Fugees | Lesson 7の英文を理解し、内容を説明できる。「関係副詞」「比較」の表現を理解し運用できる。 |
| | | 3週 | Lesson 7 The Fugees | Lesson 7の英文を理解し、内容を説明できる。「関係副詞」「比較」の表現を理解し運用できる。 |
| | | 4週 | Lesson 7 The Fugees | Lesson 7の英文を理解し、内容を説明できる。「関係副詞」「比較」の表現を理解し運用できる。 |
| | | 5週 | Lesson 8 Avatar Robots | Lesson 8の英文を理解し、内容を説明できる。「if節」「仮定法過去」の表現を理解し運用できる。 |
| | | 6週 | Lesson 8 Avatar Robots | Lesson 8の英文を理解し、内容を説明できる。「if節」「仮定法過去」の表現を理解し運用できる。 |
| | | 7週 | Lesson 8 Avatar Robots | Lesson 8の英文を理解し、内容を説明できる。「if節」「仮定法過去」の表現を理解し運用できる。 |
| | | 8週 | 後期到達度試験 Lesson 8 Avatar Robots | Lesson 8の英文を理解し、内容を説明できる。「if節」「仮定法過去」の表現を理解し運用できる。 |
| | 4thQ | 9週 | Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination | Lesson 9の英文を理解し、内容を説明できる。「SVO1O2(O2=how to ~)」「SVO+to不定詞」「SVOC(C=動詞の原形/現在分詞)の表現を理解し運用できる。 |
| | | 10週 | Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination | Lesson 9の英文を理解し、内容を説明できる。「SVO1O2(O2=how to ~)」「SVO+to不定詞」「SVOC(C=動詞の原形/現在分詞)の表現を理解し運用できる。 |
| | | 11週 | Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination | Lesson 9の英文を理解し、内容を説明できる。「SVO1O2(O2=how to ~)」「SVO+to不定詞」「SVOC(C=動詞の原形/現在分詞)の表現を理解し運用できる。 |
| | | 12週 | 英語学力テスト(英検IBA) Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination | 外部テストで自身の英語力を把握できる。 Lesson 9の英文を理解し、内容を説明できる。「SVO1O2(O2=how to ~)」「SVO+to不定詞」「SVOC(C=動詞の原形/現在分詞)の表現を理解し運用できる。 |
| | | 13週 | Lesson 10 SDGs - Sustainable Development Goals | Lesson 10の英文を理解し、内容を説明できる。扱われている社会問題に対して、自分自身で調べ発表することができる。 |
| | | 14週 | Lesson 10 SDGs - Sustainable Development Goals | Lesson 10の英文を理解し、内容を説明できる。扱われている社会問題に対して、自分自身で調べ発表することができる。 |
| | | 15週 | Lesson 10 SDGs - Sustainable Development Goals | Lesson 10の英文を理解し、内容を説明できる。扱われている社会問題に対して、自分自身で調べ発表することができる。 |
| | | 16週 | 後期定期試験 | |

評価割合

| | 定期試験 | 到達度試験 | 各種テスト・課題・点検 | 合計 |
|---------|------|-------|-------------|-----|
| 総合評価割合 | 30 | 30 | 40 | 100 |
| 基礎的能力 | 30 | 30 | 40 | 100 |
| 専門的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 |